

山田方谷先生 門下生 姓名録

《松山藩校及び方谷家塾(牛麓舎)関係》 (文献等に見られる門下生に限定、藩士の大半が門下生。)

- 1 大石 隼雄 (如雲・義陰・櫻軒) 家老職
- 2 進 昌一郎 (鴻溪・漸・祥山・鼓山) 新見市唐松出身 松山藩士 (以下 同じ。)
- 3 三島貞一郎 (中洲・桐南・毅・遠叔) 倉敷市中島出身
- 4 川田 剛 (甕江) 倉敷市玉島出身
- 5 三浦泰一郎 (佛巖・義端)
- 6 神戸謙次郎友諒 (秋山・柳二郎)
- 7 神戸 一郎 (景顔)
- 8 高野文五右衛門
- 9 林 富太郎 (抑斎・保) 倉敷市玉島出身
- 10 渡辺 貞助
- 11 東 謙次郎
- 12 服部 陽輔義徳 (犀溪)
- 13 荘田 賤夫 (霜溪)
- 14 吉田 寛治 (藍閣)
- 15 中村 長遷
- 16 児玉 泰順
- 17 毛利 宿禰
- 18 熊田 恰 矩芳
- 19 石川又次郎伯介 (鶏峰)
- 20 団藤 善平 (剣術家)
- 21 鎌田 玄溪 (名博)
- 22 木山 楓溪
- 23 服部 玄溪
- 24 塩田仁兵衛虎尾 (山田家の会計責任者)
- 25 矢吹久次郎久寿 新見市上市 大庄屋
- 25 原田 一道 鴨方藩士 笠岡市大島
- 27 横山 廉造 真庭市美甘
- 28 寺島義一郎 (寺島白麓(俊平・天祐)の子)京都市
- 29 荒木 主計 井原市
- 30 河井継之助秋義 (蒼竜窟) 越後長岡藩士 長岡市
- 31 岡本 巍 (天岳)(『師門問弁録』の著者)岡山藩士 岡山市
- 32 国分 胤之 (『魚水実録』の著者) (岡山藩士) 伊吹岩五郎は次男
- 33 福西志計子 (順正女学校創設者) 高梁市 高梁
- 34 木村 豊 (孫娘春野の夫山田準の父) //
- 35 小谷 正雄 //
- 36 桂 泰治郎 //
- 37 玉野 世履 岩国藩士 岩国市

《長瀬塾門下生》(方谷全集では63人)

- 1 大石豫太郎 (大石如雲嫡男) 旧松山・高梁藩 (以下同じ。)
- 2 渋川 莞蔵 (板倉信吉)

- 3 水谷 謙吾 (谷 直吉弟)
- 4 村田作之進 (光道)
- 5 小野田 力 (海野光波)
- 6 金田 酉二 (春如)
- 7 岡田精之進正義
- 8 山口 忠雄
- 9 谷 直吉
- 10 木村 秀雄 (渋川栄蔵弟)
- 11 服部 兵弥
- 12 渋川 猛夫 (木村秀雄弟)
- 13 毛利 八弥
- 14 中村 鷺峰
- 15 中村 月台
- 16 明石 久山
- 17 青木 石圃

旧松山・高梁藩
 //

◎ 備 中 各 郡

- 18 室 深 真庭市 中津井
- 19 室 又四郎 //
- 20 室 恭次 //
- 21 室 佳太郎 //
- 22 室 格治 (恭次弟) //
- 22 森谷清三郎 上水田・平田
- 23 森谷 藤兵 (清三郎弟) ・井尾
- 24 森谷与五平 ・ //
- 25 室 虎太郎直清 ・ //
- 26 原 嘉十郎 ・赤茂
- 27 坂本鼎三郎 ・ //
- 28 清水 円蔵 ・ //
- 29 杉 俊平 水田・山田
- 30 戸田充太郎 // ・新町
- 31 八藤 歌次 // ・湯川
- 32 綱島規一郎 高梁市 有漢
- 33 岡 復三郎 成羽
- 34 波多野重太郎 高梁
- 35 平松丑太郎 //
- 36 矢吹正太郎 新見市 上市・井村
- 37 矢吹茂次郎 (發三郎)(久次郎嫡男) //
- 38 大田 歌蔵 千屋
- 39 大田保二郎 //
- 40 安藤 文平 // ・入野
- 41 村上 丑郎 唐松
- 42 田中 貢 (富谷) 新見
- 43 古林 俊次 湯川

44 近藤健三郎
45 難波 茂平

正田
吉備中央町 大和

◎ 美 作 各 郡

1 上原義之助 (池袋義三郎)	津山市 (宮崎・都城市住)
2 上原方之助 (義之助弟)	〃
3 正木武二郎	
4 宮地 守一 (誠庵)	
5 中尾與之吉 (深造)	
6 宮下 官弥	
7 佐々木兵一郎	
8 土居寅次郎	
9 山下 官弥	
10 横山廉造	真庭市 美甘
11 横山和一郎 (廉造甥)(興讓館転学)	〃
12 横山辨二郎 (和一郎弟)(興讓館転学)	〃
13 美船文三郎 (和一郎弟)	〃
14 横山靖一郎 (廉造嫡男)	〃
15 平田小次郎	久世
16 平田平四郎 (小次郎弟)	〃
17 杉山照太郎	〃
18 武村常次郎	〃
19 福井豊一郎	〃
20 禿(大雲寺)治部卿	勝山
21 浅田 門平 (静夫)	〃
22 平岩麒麟太郎	〃
23 中西登志夫	〃
24 柴田辰治郎	〃
24 佐野篤太郎	〃 ・ 月田
25 福島熊一郎	真庭市 目木
26 美見 孝治	〃
27 鈴木 行三	〃 落合 関
28 鈴木直治	〃
29 松田道之助 (道三)	〃 栗原
30 松田晋之助 (謙八)	〃 〃
31 松田光太郎	〃
32 岩崎佳太郎	〃
33 高橋克四郎	〃
34 井手 毛三 代議士、落合町長	〃 西河内
35 杉 弥助	〃
36 高田信一郎	〃 田原
37 遠藤鼎三郎	蒜山上福田
38 福田 久平	美咲町 柵原大戸

◎ 伯耆及び備後

- | | | | | |
|---|-------|-----|-----|----|
| 1 | 足羽 学 | 鳥取県 | 日野町 | 二部 |
| 2 | 沙門 良淵 | 広島県 | 庄原市 | 東城 |
| 3 | 村田 省三 | 〃 | 〃 | |
| 4 | 水田平四郎 | | | |
| 5 | 名越 亀蔵 | | | |

《長瀬及び刑部=小坂部塾門下生》 (明治3年秋から明治10年6月まで)

◎ 旧松山・高梁藩

- | | | | |
|----|-------|---------|-----------|
| 1 | 進 乾吉 | 進 鴻溪嫡男 | 高梁市(以下同じ) |
| 2 | 鎌田真一郎 | 鎌田玄溪嫡男 | |
| 3 | 鎌田賢三郎 | 〃 三男 | |
| 4 | 渡辺 松茂 | | |
| 5 | 三原元一郎 | | |
| 6 | 辻 孫子 | | |
| 7 | 卯木仙太郎 | | |
| 8 | 林 剛夫 | | |
| 9 | 金田貞三郎 | (金田酉二弟) | |
| 10 | 伊藤市太郎 | | |
| 11 | 佐藤彦四郎 | | |
| 12 | 楫尾虎五郎 | | |
| 13 | 門田 哲一 | (正英) | |
| 14 | 福西助二郎 | | |
| 15 | 石川 主一 | | |
| 16 | 渡辺義太郎 | (渡辺兵弥弟) | |

◎ 旧成羽藩 (備中)

- | | | |
|----|-------|---------------|
| 17 | 土田 麟造 | 高梁市 成羽(以下同じ。) |
| 18 | 三村 三郎 | |
| 19 | 田中興次郎 | |
| 20 | 田邊 章彦 | |
| 21 | 佐藤啓太郎 | |
| 22 | 三村 恭弥 | |
| 23 | 村瀬兼太郎 | |
| 24 | 信原 謙蔵 | |
| 25 | 秋田亀太郎 | |

◎ 旧新見藩 (備中)

- | | | | |
|----|-------|-----------------|------------|
| 26 | 関 忠 | (士烈) (藩老大橋求馬二男) | 新見市(以下同じ。) |
| 27 | 林 卷太郎 | (西谷卷太郎) | |
| 28 | 林 慎太郎 | (林 卷太郎兄) | |
| 29 | 柳 周三 | | |
| 30 | 河和虎太郎 | | |

- 31 上田 寛三
- 32 室 恒太
- 33 平田 寛三
- 34 中川 太一

◎ 旧足守藩(備中)

- 35 青木 保 岡山市 足守
- 36 安富 潤造 " "
- 37 下妻康文治 " "
- 38 丸毛久之輔 弁護士 長崎市住
- 39 松浦 久彦 判事 岡崎市住

◎ 旧岡田藩(備中)

- 40 松本 源平 倉敷市 真備
- 41 三宅 積三 " "
- 42 岡谷 林 " "

◎ 旧刑部村(真庭市小阪部)

- 43 西谷卷太郎 (旧姓 林) 新見市 大佐(以下同じ。)
- 44 西井 藤枝
- 45 宮原岩太郎
- 46 田中英太郎
- 47 戸部善之助 (廣運)
- 48 横山 佐吉
- 49 西井八百治 (小島義勝)
- 50 田中光太郎
- 51 原田 多門
- 52 西井牧太郎
- 53 宮原廣太郎
- 54 小野富太郎
- 55 宮部亀太郎
- 56 宮原幾太郎
- 57 室谷米太郎
- 58 金田伊太郎

◎ 備 中 各 郡

- 59 岡本 要吾 高梁市 川面
- 60 山本 治平 " "
- 61 東 大太郎 " " 田井
- 62 山田辰太郎 " 中井西方
- 63 綱島直太郎 高梁市 有漢
- 64 綱島 一郎 "
- 65 綱島祐次郎 "
- 66 綱島近太郎 "

67	戸田 正作		
68	難波浅右衛門	〃	巨勢
69	清水 遠蔵	真庭市	上水田井尾
70	原 嘉十郎		〃
71	森谷與五平		〃
72	坂本鼎三郎		〃
73	森谷誠三郎		水田
74	中田武一郎	高梁市	宇治
75	松田 和	〃	吹屋
76	西江 清一	〃	〃
77	河西 恭吾	総社市	秦
78	橋本芳太郎	〃	〃
79	守安隼之助	〃	山手
80	山室 富二 (日下京平兄)	井原市	美山
81	三室 省吾		〃
82	西 南臺		長尾
83	窪 省造		木ノ子
84	大津寄市太郎(花堂孫)		井原
85	池田 精一		〃
86	大森彦三郎	倉敷市	
87	小野寧太郎		長尾
88	三宅 謙蔵		〃
89	西山澄之丞		帯江
90	田中 年足		玉島
91	釈 皆成		〃
93	山下準一郎	新見市	田治部
94	山下類二郎	〃	布施
95	池田弥左衛門		菅生
96	大田儀三郎		千屋
97	湯浅正一郎		熊谷
98	福井 如道 (真福寺)		〃
99	本田義一郎		實村
100	近藤伯太郎		正田
101	西谷 節郎		青生
102	矢吹達四郎 (矢吹癸三郎弟)		上市
103	矢吹行太郎		〃
104	矢吹 太平 (行太郎弟)		〃
105	渡辺 勇		本郷

◎ 旧岡山藩

1	池田 長準 (片桐 競)(周匝領主・男爵)	赤磐市	周匝
2	池田 政和 (小池貞彦)(天城領主・男爵)	岡山市	天城
3	竹内 称平	岡山市	(以下同じ。)

- 4 赤座 弓弦
- 5 幸部立太郎
- 6 進藤 慎一
- 7 滝本 潤身
- 8 石黒 操平
- 9 香川 大學 (伊木若狭養子)
- 10 中条喜三郎
- 11 内藤 猛
- 12 秋田 鶴雄
- 13 杉本 繁
- 14 佐藤 四郎
- 15 山本 軍蔵
- 16 谷川 達海 定次郎・盈進 (原泉) 閑谷校(鬻)再興者の一人
- 17 中川横太郎 //
- 18 国分 胤之 『魚水実録』著者 (前出) //

◎ 備 前 各 郡

- 1 萩原 太郎 吉備中央町 加茂
- 2 石井宗三郎 //
- 3 行森幸太郎 //
- 4 河原敬一郎 //
- 5 畠山 三郎 (萩原太郎弟) //
- 6 山中 美之 //
- 7 大森 美範 赤磐市 津崎
- 8 大久保貞治 久保
- 9 津島十次郎 石井原
- 10 戸田 逸平 //
- 11 横山 義隣 原岡
- 12 高原益太郎 岡山市 牟佐

◎ 旧津山藩

- 1 渡辺敦五郎 津山市 (以下同じ)
- 2 海老原辰治郎 (敦五郎弟)
- 3 河井 碩夫
- 4 河瀬 大造
- 5 牧 虎之助
- 6 西村邦次郎
- 7 山本良太郎
- 8 捲河彙三郎 津山市 (以下同じ)
- 9 戸田 恭夫
- 10 牧野 貞斎
- 11 二つ橋朝次郎
- 12 松永 産治

- 13 小川 賢治
- 14 尾上 之松
- 15 山田 渚
- 16 中島 瀧治
- 17 木内 堅治
- 18 岩崎佳太郎
- 19 大森雄三郎
- 20 国米正一郎
- 21 安原廣次郎
- 22 竹内総次郎

◎ 美 作 各 郡

- | | | | |
|----|---------------|-----|-------|
| 23 | 日笠 寿介 | 勝央町 | 豊久保 |
| 24 | 佐々木達四郎 | 〃 | 〃 |
| 25 | 玉置勝三郎 | 岡山市 | 建部町鶴田 |
| 26 | 今村伴次郎 | 〃 | 〃 |
| 27 | 大沼 力馬 | | 〃 |
| 28 | 原 次郎 | | 〃 |
| 29 | 今村寛三郎 | | 〃 |
| 30 | 高田慎一郎 | 真庭市 | 久世 |
| 31 | 杉山 深造 | 〃 | 久世 |
| 32 | 牧野馬之允 | 鏡野町 | 奥津久田 |
| 33 | 植木辰五郎 | 津山市 | 久米町一方 |
| 34 | 田口政太郎 | | 押淵 |
| 35 | 水嶋隣太郎 | | 桑下 |
| 36 | 久山茂一郎 | | 中北上 |
| 37 | 安藤初之丈 | | 坪井 |
| 38 | 樫野茂四郎 | | 院庄 |
| 39 | 寺坂 幸逸 | | 阿波 |
| 40 | 今村完三郎 | 岡山市 | 建部町鶴田 |
| 41 | 河鮪 駿策 | 〃 | 〃 |
| 42 | 田中九之丞 | 〃 | 福渡 |
| 43 | 佐野篤太郎 | 真庭市 | 月田 |
| 44 | 横山弁二郎 | 〃 | 美甘 |
| 45 | 美船文三郎 | | 〃 |
| 46 | 横山靖一郎 | | 〃 |
| 47 | 平岩麟太郎 | | 〃 |
| 48 | 中西登志夫 (三浦家書家) | | 勝山 |
| 49 | 柴田辰次郎 | 真庭市 | 勝山 |
| 50 | 浅田 静夫 | | 〃 |
| 51 | 岩崎佳太郎 | | 美川栗原 |
| 52 | 高橋克四郎 | | 美川栗原 |
| 53 | 鈴木 直治 | | 関 |
| 54 | 遠藤延三郎 | | 蒜山上福田 |

55	高田信一郎		落合田原
56	杉 弥助		西河内
57	原田円次郎		湯原
58	内田兼三郎		
59	福山熊一郎		久世目木
60	木代 朝康	新庄村	
61	福山 武	美咲町	柵原
62	福田 久平	〃	〃

◎ 播 磨 三日月藩

1	上領 健治	兵庫県	佐用町
2	寺本 権吉		〃
3	宮 杏太郎		〃
4	鈴木登志夫		〃
5	田島源太郎		〃

◎ 福本藩

6	内藤 魁	兵庫県	福崎町
7	藤井 澹		〃
8	田邊 亀蔵		〃
9	神谷漣之進		〃
10	佐久間 斉		〃
11	五島 肇		〃
12	西脇 春助		赤穂市上郡
13	服部喜之丞		〃 大村
14	岡田 定吉		〃 尾崎
15	吉田孝次郎		〃 上假屋

◎ 赤穂藩

16	伴 基之助	〃	赤穂市
17	伴 質次郎 (伴基之助弟)	〃	〃

◎ 姫路藩

18	久松 梅蔵	兵庫県	姫路市
19	伊丹城彦一郎	〃	〃

◎ 龍野藩

20	福島幾太郎	兵庫県	龍野市
----	-------	-----	-----

◎ 但 馬 出石藩

21	谷野 孝	〃	豊岡市出石町
----	------	---	--------

◎ 豊岡藩

22 高田 剛馬 // 豊岡市

◎ 丹波 ◎ 亀岡(亀山)藩

1 大田 幸蔵 京都府 亀岡市 (以下同じ)
2 矢島芳太郎
3 日比 大蔵
4 矢島綱四郎
5 並河千太郎
6 足立 幸蔵
7 堺和久米三郎
8 山田 吉雄

◎ 園部藩

9 佐久間豊三郎 // 南丹市 園部町
10 村岡 崇 // "

◎ 備後各郡

1 田邊文四郎 広島県 庄原市 東城町
2 宮崎或太郎 // "
3 三橋充一郎
4 檜橋 體染
5 檜橋 哲彦
6 深江恭太郎
7 麻生 吉兵衛
8 伊藤 豊松 庄原
9 釈 舜巖 // 福山市 福山

◎ 因幡 ◎ 鳥取藩

1 小川 俊男 鳥取県 鳥取市(以下同じ。)
2 久林 正静
3 太田 耕斉
4 赤穴 乗公
5 荒尾 美就
6 林 一磨
7 小林駒太郎
8 門脇 端造
9 足立 庵
10 平田 守身
11 木下佐太郎
12 津川源三郎 (謙光)
13 木下 直身 (足羽学弟)
14 生田 良斉

◎ 伯耆

15	林 昇造	鳥取県	倉吉市	倉吉
16	長谷川 久			
17	妙泉 浄信 (小川)			
18	村上 豊吉			馬場
19	衣笠 得乗			山根
20	富山 健蔵		米子市	
21	田代 元孝		〃	
22	松本 静夫			
23	上瀧 通			
24	最上吉太郎			熊党
25	山瀬 虎次		琴裏町	弓原
26	上杉 乗誓			浅津
27	若原 観瑞			
28	田子 台弁		大山町	大仙寺
29	渡辺 芳蔵		南部町	渡
30	野坂金次郎		〃	溝口
31	面谷俊太郎		境港市	

◎ 出雲

1	山村 勉齐	島根県	安来市	広瀬町
2	佐伯歴之助		〃	〃
6	並河 某			安来
7	安藤 守正			
8	神谷 裕典			
9	今泉 美登			
10	山本 僧冠			
11	浅川 忠			
12	佐々木円信			
13	田中増之助	島根県	出雲市	鵜鷺
14	吉野 雲平		松江市	大庭
15	藤沢 清		〃	林
16	寶 澄傳		大田市	静間
17	积 良圓	〃	不詳	

◎ 伊勢 ◎ 亀山藩

1	伴 九阜	三重県	亀山市	
2	佐野松太郎		〃	
3	宮内 黙蔵			
4	山本 三省			

◎ 尾張 ◎ 名古屋

1 永田 颯 愛知県 名古屋市

◎ 豊後 ◎ 杵築藩

1 伊藤 庫二 大分県 杵築市
2 河野 通 〃
3 矢野 仁
4 渡辺 荒吉
5 河野 萬弥
6 松浦三太郎
7 伊藤滝三郎
8 河野 催蔵

◎ 臼杵藩

9 国枝 毅 〃 臼杵市

◎ 森藩

10 村上 作夫 (樟江・義券) 〃 玖珠町
11 林 晋太郎 〃
12 島 大次郎
13 林 照徳
14 佐久間豊三郎
15 秋山 発平
16 江藤 孝本

◎ 筑前 ◎ 秋月藩

1 吉田 波雄 福岡県 朝倉市
2 菊池 武彦 〃
3 磯 平八

◎ 豊前

1 二木重三郎 福岡県 豊前市

◎ 京都

1 加名生邦次郎 京都府 京都市 烏丸

◎ 常陸 ◎ 水戸藩

1 原 百之 (原市之進甥) 茨城県 水戸市
2 遠藤秀之進
3 佐原 四郎
4 稻津誠三郎
5 富田七郎三郎
6 小山田醒吉

◎ 越 前

1 小野 三郎

福井県 大野市新堀

◎ 武 蔵

1 結城 顕彦

神奈川県 横須賀市金沢

(備 考)

- 1 門下生の姓名については、山田準編著「山田方谷全集」をはじめ各文献に見られる門下生に限定して掲載した。(藩校での修学は、藩士のほとんどが義務化されていた。)
- 2 出身地等については、現在の市町村名に従って記載した。
- 3 門下生の姓名及び出身地が、各文献によって異なっているものがあるが、「山田方谷全集」の記載に従った。
- 4 松山(高梁)藩校、家塾「牛麓舎」、長瀬塾及び刑部塾に学んだ門下生の総数を、「山田方谷全集」では、378人と記述されている。
- 5 長瀬塾生の名簿とされる『無量壽堂書生名簿』(養子耕蔵(明遠)自筆の姓名録)には、63人(高梁藩13人、備中各郡24人、美作21人、伯耆1人、備後4人)となっているが、他は不詳となっている。
- 6 刑部塾生の国別では、18か国、藩では、24藩、その他を合わせて293人となっている。